

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「先進国ソブリンオープン・為替ヘッジあり（毎月決算型）（愛称 円のかげ橋）」は、このたび、第66期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、先進国のソブリン債（国債および政府保証債等）およびわが国の公社債、短期金融商品に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第66期末(2016年5月16日)

基準価額	9,327円
純資産総額	57百万円
第61期～第66期	
騰落率	1.8%
分配金(税引前)合計	150円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

## 先進国ソブリンオープン・ 為替ヘッジあり（毎月決算型） （愛称 円のかげ橋）

追加型投信／内外／債券

作成対象期間：2015年11月17日～2016年5月16日

## 交付運用報告書

第61期（決算日 2015年12月14日） 第64期（決算日 2016年3月14日）

第62期（決算日 2016年1月14日） 第65期（決算日 2016年4月14日）

第63期（決算日 2016年2月15日） 第66期（決算日 2016年5月16日）

 **岡三アセットマネジメント**  
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

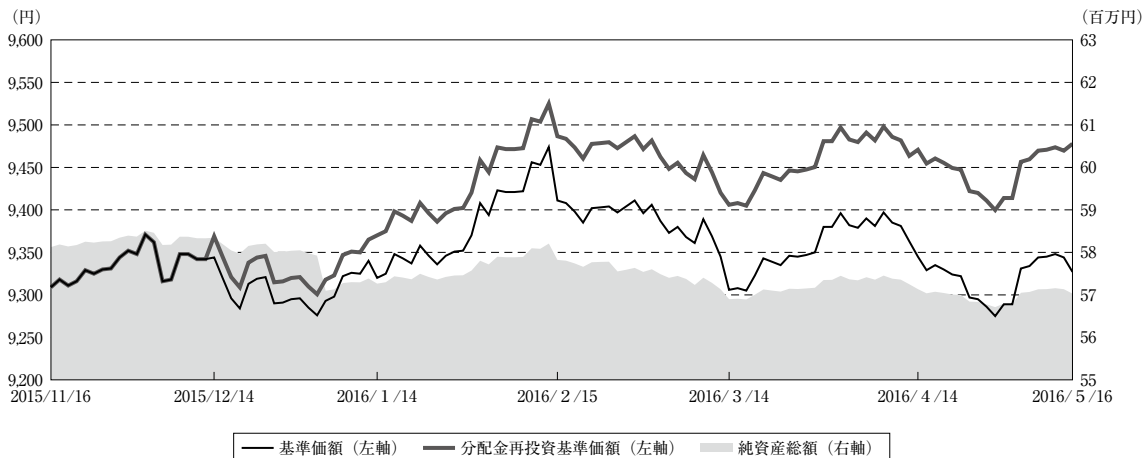
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2015年11月17日～2016年5月16日）



第61期首：9,309円

第66期末：9,327円（既払分配金（税引前）：150円）

騰落率：1.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年11月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

##### （主なプラス要因）

#### ○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

・米国債、カナダ国債、イギリス国債、ドイツ国債、シンガポール国債の利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスに寄与しました。

#### ○マネーポートフォリオ・マザーファンド

・わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益を確保したことがプラス要因となりました。

##### （主なマイナス要因）

#### ○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

・特にありません。

#### ○マネーポートフォリオ・マザーファンド

・特にありません。

## 1 万口当たりの費用明細

（2015年11月17日～2016年5月16日）

項目	第61期～第66期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 30	% 0.322	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(10)	(0.107)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(19)	(0.199)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.006	(b) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合計	31	0.328	
作成期間中の平均基準価額は、9,345円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

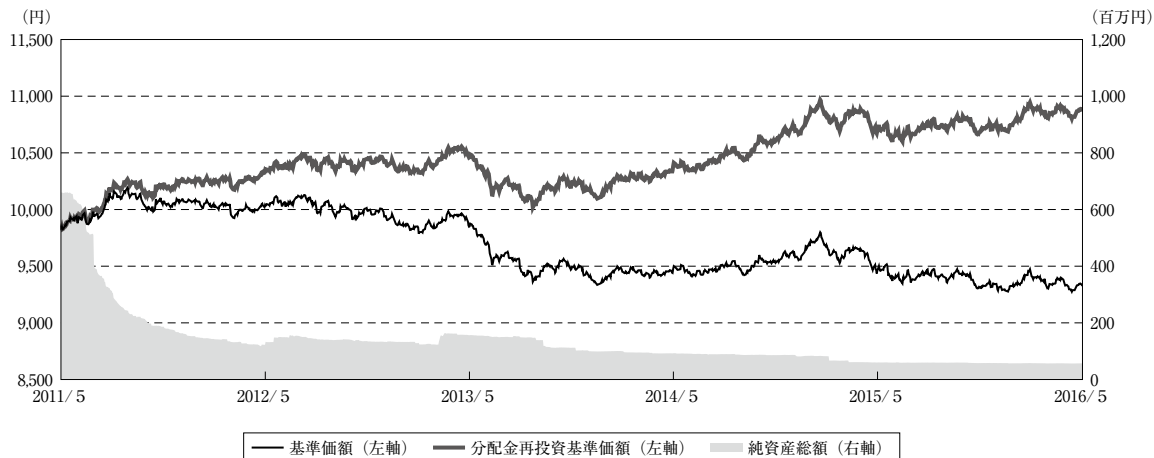
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2011年5月16日～2016年5月16日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2011年5月16日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2011年5月16日 期初	2012年5月14日 決算日	2013年5月14日 決算日	2014年5月14日 決算日	2015年5月14日 決算日	2016年5月16日 決算日
基準価額 (円)	9,836	10,021	9,861	9,440	9,436	9,327
期間分配金合計(税引前) (円)	—	300	300	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	5.0	1.4	△1.2	3.1	2.1
純資産総額 (百万円)	660	122	156	92	60	57

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回る、あるいは連動する運用を目指した運用を行っておりません。そのため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

**投資環境**

（2015年11月17日～2016年5月16日）

**（先進国の債券市場）**

中国の景気減速懸念や原油価格の下落等を背景に、「質への逃避」の動きが強まり、2016年2月中旬旬にかけて、世界的に債券利回りが低下基調を辿りました。また、日銀がマイナス金利政策を導入したことも世界の債券利回りを低下させる要因となりました。その後、原油価格が反発したものの、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを急がない姿勢を示した影響もあり、世界的に債券利回りが低位で推移しました。

**（為替市場）**

為替相場は、中国の景気減速懸念や原油価格の下落等を背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まり、投資対象通貨が対円で軟調に推移しました。1月には、日銀がマイナス金利政策の導入を発表し、投資対象通貨が対円で上昇する場面が見られましたが、FRBの利上げに慎重な姿勢が確認されると、ドルを中心に主要通貨が対円で反落しました。

**（国内短期金融市場）**

日銀の量的・質的金融緩和やマイナス金利政策を背景に短期の国債利回りは、マイナスを含む低位での推移となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2015年11月17日～2016年5月16日）

**<先進国ソブリンオープン・為替ヘッジあり（毎月決算型）（愛称 円のかげ橋）>**

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」、「マネーポートフォリオ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」を高位に組み入れて運用を行いました。

**○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）****（債券組入比率）**

当作成期を通じて、高位の組入比率を維持しました。

**（為替ヘッジ比率）**

米ドル、カナダドル、ユーロ、イギリスポンド、シンガポールドルに対して為替ヘッジを行い、当作成期を通じて高位のヘッジ比率を維持しました。

**（国別投資比率および年限別投資配分）**

アメリカ、カナダ、ドイツ、イギリス、シンガポールの国債に投資しました。当作成期におきましては、米国債、イギリス国債の比率を比較的高位としました。また、相場動向に応じて、年限別の投資配分を調整しました。当作成期におきましては、中長期ゾーンの比率をやや高めとしました。

**○マネーポートフォリオ・マザーファンド**

わが国の公社債、および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行いました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2015年11月17日～2016年5月16日）

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

## 分配金

（2015年11月17日～2016年5月16日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当作成期間におきましては、第61期から第66期の決算期に、それぞれ1万口当たり25円（税引前）、合計150円の収益分配を行いました。

なお、収益分配に充てなかった留保益については、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
	2015年11月17日～ 2015年12月14日	2015年12月15日～ 2016年1月14日	2016年1月15日～ 2016年2月15日	2016年2月16日～ 2016年3月14日	2016年3月15日～ 2016年4月14日	2016年4月15日～ 2016年5月16日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.267%	0.268%	0.265%	0.268%	0.267%	0.267%
当期の収益	25	22	25	23	25	22
当期の収益以外	—	2	—	1	—	2
翌期繰越分配対象額	428	426	427	426	427	424

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下捨てて算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

## （投資環境）

債券市場につきましては、世界的に緩やかなペースでの景気回復が見込まれることや、日欧のマイナス金利政策を背景とした投資家の利回り追求の動きから、長期債利回りが緩やかに低下すると見ています。

為替市場につきましては、世界経済の低成長により内外金利差の拡大が見込みにくいことや、日本の経常黒字に伴う実需面での円買い圧力を背景に、主要通貨が対円で軟調に推移する展開が想定されます。ただ、日本の当局による為替介入への警戒も残ることから、主要通貨の対円での下落余地は限定的であると考えます。

短期金融市場につきましては、日銀の金融緩和スタンスを背景に、低金利環境が続く見通しです。

## （運用方針）

## ＜先進国ソブリンオープン・為替ヘッジあり（毎月決算型）（愛称 円のかげ橋）＞

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」、「マネーポートフォリオ・マザーファンド」への投資を通じて、先進国のソブリン債およびわが国の公社債、短期金融商品に投資します。「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」の組入比率は高位を保つことを基本とします。

## ○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

自国通貨建て長期債務格付けがAAA格相当であるシティ世界国債インデックス（参考市場を含む）の構成国の中から、長短金利水準、イールドカーブ分析、ファンダメンタルズ分析を勘案して選定した債券に投資を行うとともに、外貨建資産については、為替ヘッジを行う方針です。当面は、米国債やイギリス国債の組入比率を高め維持する方針です。

## ○マネーポートフォリオ・マザーファンド

わが国の公社債、および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行う方針です。

## お知らせ

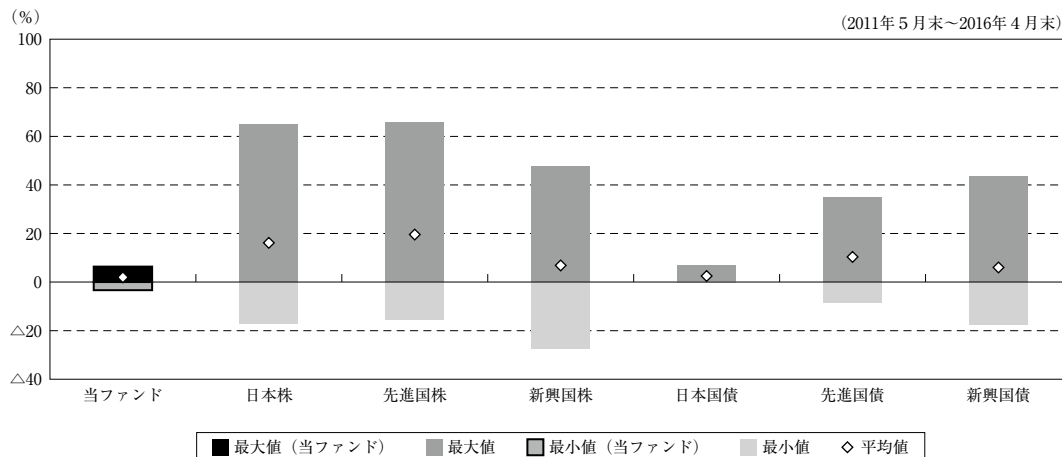
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2010年11月15日から2020年8月14日までです。
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、先進国のソブリン債（国債および政府保証債等）およびわが国の公社債、短期金融商品に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。
主要投資対象	為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）の受益権及びマネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、投資信託証券への投資を通じて、先進国のソブリン債（国債及び政府保証債等）およびわが国の公社債、短期金融商品に投資します。 投資するソブリン債は、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）の採用国のうち、取得時において、AAA格相当の自国通貨建て長期債務格付けを有する国のソブリン債とします。 投資にあたっては、長短金利水準のほか、イールドカーブ分析、ファンダメンタルズ分析等により国別投資比率とデュレーションを決定します。 ポートフォリオ全体のデュレーションは、8年以内とします。 為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）の組入比率は高位を保つことを基本とします。
分配方針	毎月14日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた配当等収益には、マネーポートフォリオ・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勧案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	6.4	65.0	65.7	47.4	6.7	34.9	43.7
最小値	△3.3	△17.0	△15.6	△27.4	0.4	△8.6	△17.4
平均値	1.9	16.1	19.5	6.8	2.5	10.3	6.0

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2011年5月から2016年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2011年11月以降の年間騰落率を用いています。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・デバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

（2016年5月16日現在）

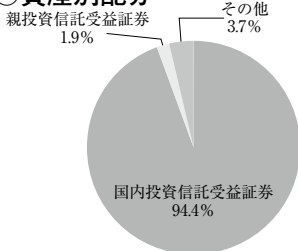
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第66期末
	%
為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）	94.4
マネーポートフォリオ・マザーファンド	1.9
組入銘柄数	2銘柄

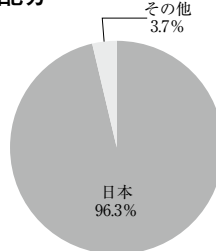
（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

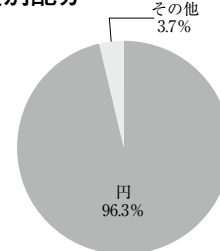
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

### 純資産等

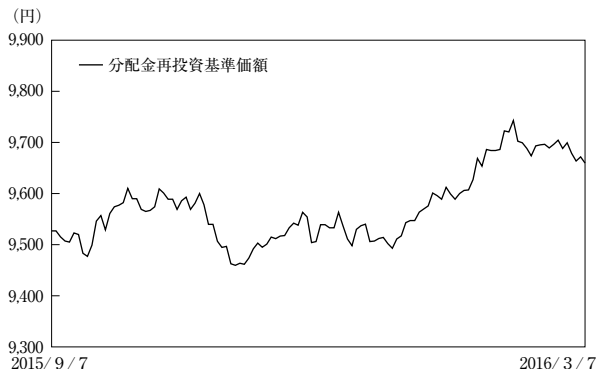
項目	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末	第66期末
	2015年12月14日	2016年1月14日	2016年2月15日	2016年3月14日	2016年4月14日	2016年5月16日
純資産総額	58,343,494円	57,265,093円	57,823,406円	56,899,155円	57,135,298円	57,028,993円
受益権総口数	62,442,589口	61,442,589口	61,442,589口	61,142,589口	61,142,589口	61,142,589口
1万口当たり基準価額	9,344円	9,320円	9,411円	9,306円	9,345円	9,327円

（注）当作成期間（第61期～第66期）中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,300,000円です。

## 組入上位ファンドの概要

### 為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2015年9月8日～2016年3月7日)

項目	第70期～第75期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬	10	0.107
（投信会社）	(8)	(0.081)
（販売会社）	(1)	(0.005)
（受託会社）	(2)	(0.021)
(b) その他費用	2	0.017
（保管費用）	(1)	(0.011)
（監査費用）	(1)	(0.007)
合計	12	0.124

作成期間中の平均基準価額は、9,503円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。  
 (注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2016年3月7日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	TREASURY 8	国債証券	イギリスポンド	イギリス	19.1
2	TREASURY 6	国債証券	イギリスポンド	イギリス	10.0
3	US TREASURY N/B 8	国債証券	米ドル	アメリカ	8.0
4	US TREASURY N/B 8.75	国債証券	米ドル	アメリカ	7.8
5	US TREASURY N/B 8.75	国債証券	米ドル	アメリカ	7.7
6	CANADA-GOV'T 8	国債証券	カナダドル	カナダ	6.6
7	US TREASURY N/B 8.5	国債証券	米ドル	アメリカ	6.0
8	TREASURY 8.75	国債証券	イギリスポンド	イギリス	5.0
9	CANADA-GOV'T 9.75	国債証券	カナダドル	カナダ	4.3
10	US TREASURY N/B 7.25	国債証券	米ドル	アメリカ	3.7
組入銘柄数		17銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。  
 (注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

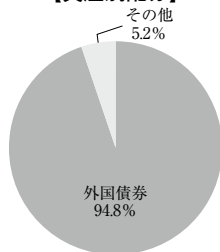
【外国為替予約取引の状況】

(2016年3月7日現在)

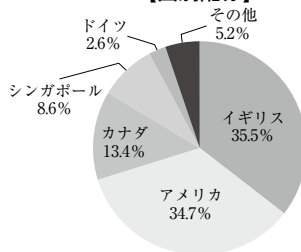
通貨		比率
買い	売り	
日本円	米ドル	34.2%
日本円	イギリスポンド	34.1%
日本円	カナダドル	13.0%
日本円	シンガポールドル	8.3%
日本円	ユーロ	2.6%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する予約外貨評価額の割合です。

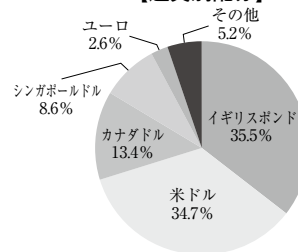
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

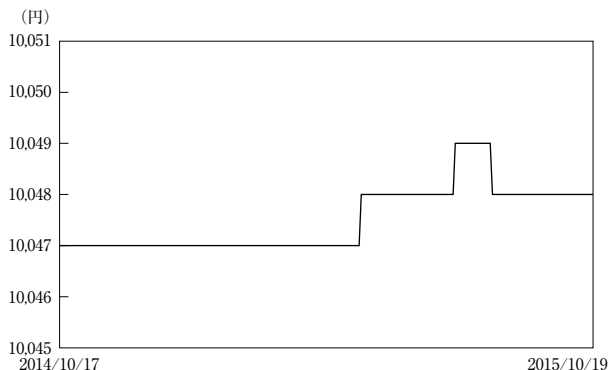


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。  
 (注) 通貨別配分につきましては組入債券の通貨別比率を表示しております。

## 組入上位ファンドの概要

### マネーポートフォリオ・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年10月18日～2015年10月19日)

当ファンドには、信託報酬はありません。  
また、当期において有価証券の売買委託手数料、保管費用等の費用は発生していません。

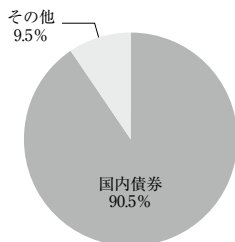
【組入上位10銘柄】

(2015年10月19日現在)

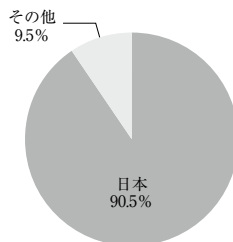
銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第280回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	38.3
2 第336回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	23.7
3 第96回利付国債(5年)	国債証券	円	日本	14.2
4 第93回利付国債(5年)	国債証券	円	日本	14.2
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-
組入銘柄数		4銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。  
(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

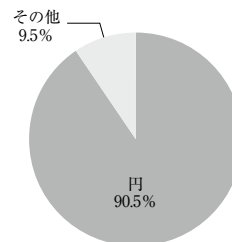
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### ○シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。  
なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。